

講演 30 分 / 質疑応答 20 分

# 「財政」の再起動

1

## 財政非常事態宣言からの復活のコツ

裾野市長 **村田 悠**

静岡県裾野市は、累積赤字の拡大により 2022 年に財政非常事態宣言を  
発出しましたが、事業の見直しや安定的な財政運営を担保する仕組み  
づくりにより、わずか 3 年で宣言を解除。健全な財政へと着実に回復し、  
持続可能な地域経営に挑んでいます。 ※公務の都合により登壇者等変更の可能性あり



講演 30 分 / 質疑応答 20 分

# 「公共施設」の再起動

2

## ガランとしたホールが住民活動の拠点に

小美玉市役所元職員 **中本 正樹**

茨城県小美玉市の「みの〜れ」は、住民が企画・運営に主体的に関  
わる全国でも先進的な文化拠点です。どのような取り組みで地域の  
創造力とつながりを育む拠点となったのか？その仕掛け人から本音  
の話を聞きます。



講演 30 分 / 質疑応答 20 分

# 「コミュニティ」の再起動

3

## 17 歳の町内会長が見た住民自治

鹿児島市 唐湊山の手町内会 元町内会長 **金子 陽飛**

鹿児島市で当時高校3年生の町内会長が誕生しました。4年間、会長を  
務め、様々な改革を実施していきます。町内会の役員は全国的になり手  
不足。若者から見た町内会はどのような組織だったのか？組織はどの  
ようになら変わったのか？なり手不足と言われる様々な職業へのヒ  
ントを探ります。



# 実践者の学びの場 地域経営講座

8月5日(火)

13時30分から16時30分

早稲田大学

日本橋キャンパス ホール  
※オンライン配信なし

## 主宰挨拶 Maniken 代表理事 **中村 健** (元徳島県川島町長)

人口減少や価値観の多様化等により地方自治の現場は大きく変化しています。  
昭和から続いてきた運営方法や常識が適当ではなくなり機能不全に陥っている  
分野が多数散見されます。

人口増加時代に建設された公共施設の利活用問題、それ  
に伴うコスト捻出の問題。住民自治の成熟を目指しな  
がら行政依存が強まり従来のコミュニティが機能  
しなくなっていることも挙げられるでしょう。それ  
に伴い、スクラップ&ビルドが進まず財政の硬直化  
が進んでいる市町村も多いのが実態です。本講座  
は、地方自治の現場で今最も課題になっている項目  
を取り上げ、その実践者として取り組んでいる3名に登  
壇いただき学びの場を創出します。ぜひご参加ください。



JR四国社員を経て、平成11年、27歳  
で徳島県川島町長に初当選。全国最年少  
の首長となる。町長を2期務めた後、  
平成16年に川島町を含む4町村が合併  
し吉野川市が発足するにあたり、地方  
自治の探求を目的に早稲田大学大学  
院公共経営研究科に入学。早稲田大学  
マニフェスト研究所で研究員を兼  
務しながら大学院を首席で修了。  
修士論文は大隈賞を受賞。現在は、  
早稲田大学デモクラシー創造研  
究所 地域経営部 会長、(社)  
Maniken 代表理事等。平成29年度  
より熊本市政策参与。令和6年度  
より大正大学客員教授。その他、  
取手市議会デモテック・アドバ  
イザー、高森町まちづくり人材育  
成アドバイザーなど自治  
体の行政・議会の双方の活  
動を多数支援中。月刊ガバナ  
ンス(きょうせい)で『地域経  
営シンカ論』を連載中。

[日 時]  
2025年8月5日(火) 13時30分～16時30分

[会 場]  
早稲田大学日本橋キャンパス(WASEDANEJO)ホール  
東京都中央区日本橋1-4-1日本橋一丁目三井ビルディング5階  
※オンライン参加はできません。

[参加費]  
無料  
[定員・参加対象者]  
100名様(先着順)  
一次申込(締切7月18日): 首長・副首長及び代理  
二次申込(締切7月31日): すべて(議員、市民等)  
※二次申込は空席状況により申込受付します

[懇親会] ※終了後隣飲食店にて開催  
希望制(要申込)・5千円  
[お申込] Peatixより(無料チケット)  
<https://20250805.peatix.com>  
[問合せ] 事務局 (一社)Maniken  
mani@maniken.jp / 03-5324-2718

